

◆国政選挙を終えて

国会の解散を受けて、衆議院国政選挙が行われた。本市は市長選に続き国政選挙ということもあり、投票率の動向が懸念された。概ね自公連立政権の圧勝に終わったが、更にアベノミクスの恩恵を地域隅々まで浸透させてほしいとの国民の期待と受け止められる。今後も更に国・県・市の連携のもとに、オール熊本の結束を強固なものとし、本市発展の道筋を図れるものと期待している。

◆MICE計画

市長選の争点とされたMICE(大規模集客施設)は、多額の財政支出を伴うものとして市民の注目を浴びた。その内容は市民に分かりづらく、計画当初の予算は、**建設資材・労務費の高騰**により大きく跳ね上がった。しかも花畑再開発との一体化により理解されにくく、今後一層丁寧な説明を広く市民に行わなければならない。

MICE(大型集客施設) 当初予算…289億円→現在予算見込額…314億円(25億円増)
桜町・花畑地区開発 当初予算…523億円→現在予算見込額…691億円(168億円増)

◆国会議員への要望活動

11月15・16日、東京の全国都市会館において全国政令市総務委員長会議が開催され、作成した大都市財政の実態に即応する財源の拡充のための要望書(通称・青本)を各県の国会議員宿舎を訪問し直接手渡す。



国会議員に青本の説明



馬場参議に青本を提出



全国総務委員長会議

風林火山

一般質問を終えて
熊本市は平等で、日本一暮らしやすい都市を目指しているところですが、いじめ問題や過疎の問題、子育て環境問題、更には男女が等しくすべてにおいて機会を有しているのか...等々、いまだ課題も多く存在しています。これからも市政発展のために精進し大胆に提言して参ります。

一般質問(H26年6月12日)

- 熊本市の農業について
 - 農業わくわく化事業について
 - 農業用施設の課税状況について
 - 施設に対する振興策について
 - 耕作放棄地について
- 熊本市のいじめ対策について
 - 学校いじめ基本方針について
 - 教育委員会制度見直しについて
 - 学校裏サイトについて
- 熊本市の過疎化対策について
 - 本市に過疎の概念はあるのか
 - 本市が取り組んでいる対策について
 - 芳野校区町づくり構想について
- 男女共同参画について
 - 職員の意識向上について
 - 審議会等における女性登用率について
 - 女性・男性産休取得状況について
 - 男女共同参画推進人の配置について
 - 校区推進員の住民に対する啓発について

いやあ〜 何回やっても緊張しますね〜



一般質問傍聴



国際人材育成機構(ジャカルタ)



農協青年部市政報告会(山本地区)



大和地区夏祭

◆一年の主な活動◆

- 1/12 出初式
- 1/14 過疎対策の取組み現況調査(益城町役場)
- 2/17 議員研修
- 3/10 予算決算総括質疑
- 3/26 南消防署開所式
- 4/17 総務委員会
- 5/8~10 福井市研修
- 5/16 三者意見交換会(市議・自治会・北区執行部)
- 5/20 畜産振興協会との協議会
- 6/12 一般質問
- 6/29~7/4 マレーシア・インドネシア行政視察
- 7/28 6市対抗野球大会
- 8/3 消防操法大会 人吉
- 8/4 マレーシア(HDC)来日・来熊 対応
- 8/20 ベトナム共和国国慶レセプション 福岡
- 9/1~3 総務委員会行政視察 墨田区議会・千葉市役所・目黒区役所(行革)
- 9/4~6 台湾高雄市議会訪問
- 10/9 県・市政調査
- 10/14~16 山鹿植木広域行政事務組合行政視察(高山市快適環境づくり市民議会)
- 11/5~6 全国総務委員長会議(東京・全国都市会館)
- 11/25 永年勤続功労者表彰
- 11/28 臨時議会

未来につながる「融和」の心!



出初式



東アジア交流訪問



山鹿植木広域行政事務組合視察

インドネシア・マレーシア視察は経済・観光の交流を促進し、互いの国にとって発展の機会を図るものであります。特にマレーシア・HDC(ハラル産業公社)訪問では、イスラム圏の人々の食文化が、我が国にとっても大きな経済効果を期待させるものでした。また互いの文化を理解しあうことは、経済はもとより何より世界の平和に寄与するものと考えます。



ハラル産業公社との会議(マレーシア)



インドネシア日本大使館訪問



マレーシア日本大使館訪問

熊本市長選挙が行われ、3名の候補者がそれぞれの政策をもって激突致しました。結果大西一史氏が新市長に当選され、今後の本市が抱える様々な課題(子育て支援・地域福祉・花畑再開発等)に全力で取り組んでいかれるものと期待します。
また、地域の抱える問題も同時に重要であると考えます。熊本市が合併町と交わした約束事である新市基本計画は、執行済額+H26年当初予算ベースで平均63%と、概ね順調であると考えます。しかし地域間格差は本市にとっても大きな問題であり、政令市に過疎の地域があってはならないと思います。この過疎化の進行を食い止めるための新たな政策も新市長と共に真剣に取り組んで参ります。

原口 亮志